

他国の薬剤師、薬学生の姿から学んだこと

薬学部 薬学科 5年

110973356

松本陽介

私が所属している病院薬学研究室ではホスト研究室として、毎年サンフォード大学から薬学生を受け入れている。今年度は計 5 名の交換留学生在が来日し、平日は大学紹介や研究室見学の案内、そして交換留学生に対し我々の研究テーマのプレゼンを行ったりした。また休日には観光案内をし、共に時間を過ごし様々な会話をすることでアメリカの薬学部、そして薬剤師の姿に興味を持つようになった。

今回、アメリカの南部に位置するアラバマ州のサンフォード大学で平成 27 年 7 月 15 日から 7 月 27 日の約 2 週間に及ぶ海外臨床研修に参加させて頂いた。月曜日から土曜日まで症例検討や危機管理、疾患に対する講義を中心に受け、その合間に病院や薬局など 2 施設を見学させて頂いた。

そのうちの 1 つの施設である **Jefferson County Department of Health** は保健所内に外来専門のクリニックが併設された公衆衛生局である。またバイオテロや大規模自然災害など人々の健康を脅かす有事の際、迅速に対応するために備えられた組織でもある。病院内には緊急事態対策室が設けられ緊急時の対応を検討するほか、テレビ会見を行うセットも用意されておりアラバマ州民に対して速やかに正確な情報を提供することが可能である。2005 年アメリカ南東部を襲った大型のハリケーン・カトリーナはアラバマ州の一部をかすめた。その際は被害を最小限に食い止めるために対応に追われたようだ。しかしながらこれらの災害の教訓から迅速に被害状況を確認し、必要な物資の供給、そして正確な情報提供など緊急時の対応マニュアルの作成に日々活かされている。またアラバマ州は糖尿病の発症率がアメリカ 50 州のうちでナンバー1 である。貧困層も多く、高所得者は高価でヘルシーな日本食などを食し、フィットネスやジム等に通り運動をする一方で、低所得者は安価で高カロリーなジャンクフードを食すことで肥満体系になってしまうというアメリカの構図を顕著に示していると言える。そんな中、このクリニックでは糖尿病外来も薬剤師が中心となり積極的に行っている。薬剤師が患者とマンツーマンになり、イラストを多用した分かりやすい冊子を用いて指導する。この冊子には食事療法や運動療法について患者が理解しやすくかつ親しみやすいように記載してあり視覚に訴える方法は非常に有効であると感じた。

2 つ目の施設である **St. Vincent's Hospital** では患者の病棟に出向く前に、学生は担当患者さんのカルテや情報に目を通しプロブレムを洗い出し、そこに薬剤師として介入出来る点は何かを考える。そしてファカルティを中心とし学生 2 人を交え担当患者さんの現在の状態から使用する薬剤、投与量は適切かどうか確認し、そして洗い出したプロブレムに対しどの様に介入していけば良いかについて特に時間をかけて議論している姿が印象的であった。薬学生のうちから実践形式で患者さんの薬物治療に主体的に介入し、また自分の意見や方針が採用され今後の治療に反映されることはとても自信に繋がると同時に実習に対するモチベーション向上にも大きく影響すると感じた。また学生のうちからある程度の責任を負わせることで将来医療人として患者さんの命を預かるという自覚を築き上げることが出来るのであろう。

そして最も私が刺激を受けたのは他国からの薬学生である。今年度は韓国から淑明女子大学校の学生と、エジプトから **Misr International University** の多くの学生と共に講義を受講したり施設訪問を行った。両国の学生は薬学知識もさることながら、英語も堪能であり私との能力の差に驚くと同時に自分の不勉強さを恥ずかしく思わざるを得なかった。また韓国とエジプトの両学生が英語で討論している姿をただただ見つめるしかできなかった事に歯痒い思いを募らせた。海外の医療従事者と意見を交わし、自分の思いを伝えてコミュニケーションを取るには英語が必要不可欠であり、これほど英語を勉強しておけば良かったと思った事はないであろう。しかしながら英語も儘ならない私と必死に意思疎通を取ろうと試行錯誤し温かく接してくれた両国の薬学生には深く感謝すると同時にこの出会いは私にとって掛け替えのない財産となった。

今回約 2 週間の海外臨床研修を終えアメリカと日本との薬剤師の役割そして姿の違いに驚きの連続であった。他国の医療現場を見ることで改めて自国の遅れている点や良さを再認識することが出来た。医療制度や文化の違いによりアメリカの良い部分を全てそのまま取り入れることは不可能であろう。我々日本の文化や医療の現状を考慮し、自国に合うようにアレンジし取り入れることでより良い医療そしてより良い社会になると確信する。9月から病院と薬局での実務実習が始まる。この海外臨床研修で見たこと、感じたことを胸に日本の医療というものを新たな気持ちで感じられたらと思う。そして最後にこの様な貴重な機会を与えてくださったサンフォード大学並びに名城大学の方々に深く感謝いたします。